

北海道新幹線建設現場見学会 実施報告

【開催概要】

- ・ 目的：工事進捗や新駅周辺環境に係る協議会委員及び専門部会委員の理解促進
- ・ 開催日：令和7年9月26日（金）、9月29日（月）、10月9日（木） ※各3時間程度
- ・ 参加者：計32名（うち初見学者は30名）
- ・ 見学場所：① 新小樽（仮称）駅設置予定地
② 後志トンネル（天神工区）
③ 奥沢水源地



【当日写真】



【参加者の主な意見】

- 見学会の有効性について
 - ・ 実際に見学できて良かった、また工事が進んだ時に見たいとの声多数。
- 機運醸成効果について
 - ・ 市民理解のため、見学会の実施を望む意見（特に地元の小・中学生）。
 - ・ トンネル工事映像の公開や子ども向け授業、工事内容や進捗状況を知ることができる イベントの実施など情報発信強化を望む声。
- 周辺土地利活用について
 - ・ 奥沢水源地や勝納川は整備次第で観光資源化の可能性あり（公園、BBQ、ライトアップなど）。
 - ・ 奥沢水源地は、市街地と新駅から逆方向にあり、距離もある。新幹線の活用という枠組みだけではにぎわいをつくれな。勝納川も同様に、にぎわいのためには新幹線の枠組み以外も必要。
- 新駅の活用について
 - ・ 利便性向上のための研究が必要（手荷物なしの手ぶら観光と手荷物配送サービス等）。

【全体総括】

- ・ 参加者全員の関心・期待感が向上し、市民理解促進に現場見学会が非常に有効。
- ・ 奥沢水源地・勝納川の活用はアクセスや景観の維持等の課題もあるが、将来性を評価する声も多い。 魅力的な追加コンテンツとして、イベントの実施や公園整備などの活用アイデアが挙げられた。